

# 親子聖書日課

NO.1871 2024.8/4-10

名前

[日]主の軍勢はエルサレムを包囲したアッスリヤ軍には無力に見えました。しかし、「主は必ず時を選び、公平な裁きを行う」ことを信じて、ヒゼキヤは祈ったので、敵を打ち破ることができました。神は私達のために時を定め、最善の時に裁かれます。

[月]社会では契約したことを果たせなかった時、信用を失い、仕事はもらえません。信仰の世界も、主に対してそんなことをしたら、祝福を失います。「私は主に従います」と誓いを立てたなら、生涯変わることなく、信仰一筋、神第一で生きましょう。

[火]苦難の日、詩人は主の御業を思い巡らしました。すると「数えて見よ、主の恵み」で、主が救いの道を備えて下さっている方であることを知りました。「思い続け」「思い巡らし」て、御言葉を聴くところから、神への感謝と賛美は生まれます。

[水]出エジプトからダビデまでの歴史を記すことによって、子供に信仰を伝えようとなりました。親の第一の務めは、勉強や習い事を子供にさせることではありません。罪に陥らないように主への信頼を教えること、そのために聖書日課は有益です。

[木]民は多くの神の奇跡を見ながら、神の御業を忘れて不信仰に陥り、神の怒りを招きました。神のして下ったことに健忘症になってはいけません。いつも主の十字架によって贖われたバプテスマの日を思い起こし、感謝の献げ物をしましょう。

[金]人生には「いつまで続くのか」と、主に訴える時があります。苦しくて、忍耐袋の緒が切れそうになるのです。しかし、私達は「主に養われる羊の群れ」です。主は救いの道に導いて、養って下さいますから、主に信頼してついていけばよいのです。

[土]詩人は敵に襲われた時、ただ「主よ、助けて」と叫んだのではなく、「御顔の光を輝かせて下さい」と、三度も祈り求めました。御顔の光に触れる時、暗闇は消え、命の光の中を歩めるのです。主が罪と死の間に打ち勝って下さったからです。



	聖書	問題	答え
日	詩編 75:1-11	主は必ず時を選び、公平な裁きを行いますか。	
月	76:1-13	あなたたちの神、主に誓いを立て、それをどうしますか。	
火	77:1-21	あなたの御業をどうしますか。	
水	78:1-39	その子らにどうしなければなりませんか。	
木	78:40-72	神はご自分の民を羊のようにならされたか。	
金	79:1-13	私達はあなたの民、あなたに養われる何ですか	
土	80:1-20	何の光に輝かせ、私達をお救い下さいと、祈るべきですか。	
	感想と祈りの課題		